



第19回京都国際学生映画祭プレイベント 目前祭

「格差」を捉えた学生映画

FILM 第18回京都国際学生映画祭 入選作品

『Fidelity』Ilker Çatak (ドイツ) 24分



弾圧される民衆

イスタンブール、2014年。通りでは圧政に抵抗するデモが行われ、街中の緊張が高まっていた。ある日、病院に勤務する女性アスルは、警察に追われている若い男性活動家の逃亡の手助けをする。彼女を疑い、家を訪ねてきた警察。捜査に協力しようとしないうアスルだが、事態は彼女の家族も巻き込んで悪化していく…。

『ゴロン、ボタン、キュー』山元 環 (日本) 54分



淀川のホームレス

大阪淀川河川敷。ブルーテントを建てて暮らしている。あたると元日雇いの労働者の佐々木さん。過酷ではあるが二人笑って生きている。ある日、自転車が壊れて困っている女性・とのこと出会う。そこにあたる父・常弘の手によって壊されるあたるとちの家。住みどころを失くしたあたると佐々木さんはどうやって生きていくのか…。

GUEST

川村 健一郎 様

立命館大学映像学部教授

芳泉文化財団専門家事理事

山元 環 様

大阪芸術大学出身

『ゴロン、ボタン、キュー』監督

TIME TABLE

13:00 開場

13:30 開演

『Fidelity』

『ゴロン、ボタン、キュー』

15:00 トークショー

15:30 終演

本プレイベントでは「格差」をテーマに、京都国際学生映画祭の昨年入選作品よりグリラ撮影・ドキュメンタリータッチの映像が含まれたフィクション映画を2作品上映します。

上映後のトークショーでは、ドキュメンタリー映画の専門家であり、日本映画研究の分野で多岐に渡り活躍されている立命館大学映像学部教授の川村健一郎氏と、『ゴロン、ボタン、キュー』監督である山元環氏に、学生の感じる格差から、2作のドキュメンタリー映画の側面などについてお話しいたします。

関西文化の日により

無料

申込不要

2016.11.19.sat

京都府京都文化博物館 3F フィルムシアター

京都市営地下鉄「烏丸御池」駅下車 5番出口から三条通りを東へ徒歩3分

第19回京都国際学生映画祭開催！

世界中の学生映画を専門に上映する日本唯一の映画祭。第19回目となる今年のコンペティションには43の国と地域より539作品が応募され、その中から学生実行委員会が厳選した16作品を上映します。また、4つの企画プログラムも大変魅力的なものとなっています。ぜひ、京都国際学生映画祭にお越しください。

2016

11.26.sat-12.02.fri

京都シネマ
(COCON 烏丸3F)

主催：公益財団法人 大学コンソーシアム京都
企画運営：第19回京都国際学生映画祭実行委員会
運営支援：京都国際学生映画祭企画検討委員会

お問い合わせ

第19回京都国際学生映画祭実行委員会
〒600-8216 京都市下京区西洞院通堀小路下ル
キャンパスプラザ京都6階(月曜休館)



ksfvf
@ksfvf



TEL: 075-353-9430

FAX: 075-353-9101

E-MAIL: info@ksfvf.com

WEB: http://www.ksfvf.com/